

取扱説明書 国際 VHF トランシーバー

品番 MHS75



本製品を使用するには、総務省発給の無線局免許が必要です。免許を受けずに使用した場合、電波法第 110 条の規定により処罰の対象となります。



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

このたびはユニデン国際 VHF トランシーバーをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。 <http://www.uniden.jp/>

もくじ

はじめに	3	音量の調節.....21	
安全上のご注意	3	スケルチレベルの調整.....21	
■ 本体の取り扱いについて.....4		受信と送信のしかた.....22	
■ バッテリーの取り扱いについて.....6			
■ 充電器の取り扱いについて.....8			
使用上のご注意	9	使いこなす	24
電波法に関するご注意.....9		操作モード・ウォッチモードについて24	
運用上のご注意.....9		■ 操作モード.....24	
非常時の運用について.....10		■ ウォッチモード.....24	
お手入れについて.....10		スキャンモードについて.....25	
防水性能について.....10		ウォッチモードについて.....25	
		ノーマルモードを使う26	
		■ ノーマルモードとデュアルウォッチ	
		を組み合わせて運用する.....26	
		■ ノーマルモードとトリプルウォッチ	
		を組み合わせて運用する.....26	
		スキャンモードを使う27	
		メモリーチャンネルを	
		設定する／解除する.....27	
		スキャン操作のしかた.....28	
		■ スキャンモードにする.....28	
		■ スキャンモードを終了する.....28	
		■ スキャンモードとデュアルウォッチ	
		を組み合わせて運用する.....29	
		■ スキャンモードとトリプルウォッチ	
		を組み合わせて運用する.....29	
		その他の機能30	
		キーロック.....30	
		キータッチ音.....30	
		ご参考	31
		故障かなと思ったら31	
		チャンネルリスト34	
		おもな仕様35	
基本操作のしかた	20		
ご使用になる前に.....20			
チャンネルについて.....20			
基本的な使いかた21			
電源を入れる／切る.....21			

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



注意

けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
					
一般的注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示	電源プラグを抜く

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ 本体の取り扱いについて



警告

使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください



引火や火災、爆発の原因になります。

直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に放置しないでください



ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。

製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください



火災、感電などの事故、または故障の原因になります。

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください



そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。

指定以外のバッテリーを使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

アンテナを取り付けずに送信したり、送信しながらアンテナを取り付けたり取りはずしたりしないでください



感電、故障の原因になります。

コネクターや端子部に金属片やゴミが附着したまま使用しないでください



ショートして発火の原因になることがあります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください



けが、故障の原因になることがあります。

アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください



身体に当たってけがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。

針金などの導電物を差し込まないでください



感電や故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に置かないでください



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください



変質・変色の原因になることがあります。
お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。

テレビやラジオ、またはインバーターを内蔵した電子機器の周辺では使用しないでください



電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。

アンテナを強く折り曲げたりしないでください



変形や破損の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ずバッテリーを本体からはずしてください



バッテリーが液漏れするなどして、故障の原因となります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ バッテリーの取り扱いについて



警告

分解や改造をしないでください



液漏れ、破裂、発熱、発火の原因になります。

火の中に投げたり、加熱したりしないでください



バッテリー内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

堅い床に落とすなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください



外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります。そのままの状態で使用すると、破裂、発火、発熱、発煙のおそれがあります。

直射日光の当たる場所、火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温となる場所で使用、充電したり、放置しないでください



液漏れ、破裂、発煙、発火や火災、やけどの原因になります。

使用中や充電中、または保管の際に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください



使用をつづけると、バッテリーの液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

乳幼児の手が届かない場所で使用、保管してください



感電やけがの原因になります。

電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください



破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

指定の充電時間以上連続して充電しないでください



満充電後もそのまま充電し続けたり、すぐに再充電を繰り返すと過充電となり、バッテリーの液漏れ、破裂、発熱の原因になります。

指定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、ただちに充電を中止してください



そのまま充電を続けると破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

シール類を貼ったり、テープを巻きつけたりしないでください



発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

バッテリーの端子にハンダ付けをしたり、バッテリーの端子間を針金などの金属類で接続しないでください



感電やけがの原因になります。

金属製のネックレスなど導電性のあるものをバッテリーの上に放置したり、接触させないでください



破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

バッテリーを指定の機器以外に使用したり、指定以外の方法で充電しないでください



液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

バッテリー内部の液が目に入ったり、皮膚に付着したりしたときは、こすったり触ったりしないでください



失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

バッテリーがぬれた状態で本体や充電器に装着しないでください



本体や充電器の電源端子部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

長期間使用しないときは必ずバッテリーを本体から取りはずしてください



液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

バッテリーを満充電にした状態、あるいは完全に使い切った状態で長期間放置しないでください



液漏れ、破裂、発熱や、サビなどによる性能や寿命の低下の原因になることがあります。長期間バッテリーを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が約半分になるまで使用し、本体から取りはずした状態で保管してください。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ 充電器の取り扱いについて



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電のおそれがあります。

電源プラグを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください



故障や感電の原因になることがあります。

充電が終わったら、すぐに電源プラグを抜いてください



そのまま充電を続けるとバッテリーの破裂、発火や火災、発熱、発煙の原因になります。

水のかかるところや湿気、湯気、油気、ほこりの多い場所で充電しないでください



火災や感電のおそれがあります。

使用温度範囲外の環境で充電しないでください



特に寒い戸外や冷えた状態で充電しないでください。液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

乳幼児の手が届かない場所で使用してください



感電やけがの原因になります。

充電器を水に入れたり、ぬらしたりしないでください



充電器には防水性能はありません。サビなどによる性能や寿命の低下の原因となります。水にぬれたときは乾いた布等で水気を取り、十分乾燥させてからお使いください。

電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください



火災や感電のおそれがあります。

電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください



故障や感電の原因になることがあります。

充電器の充電端子部に金属類を差し込まないでください



故障や感電の原因になることがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生したときは使用しないでください



火災や感電のおそれがあります。このような場合はすぐに電源プラグを抜き、弊社お客様センターにお問い合わせください。

■ 使用上のご注意

- 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
- お客様や第三者が誤った使用方法で本製品を使用したことによる故障や不具合、あるいはその使用によって生じた損害について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電波法に関するご注意

- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。
これは簡単な手続きにより本製品をお使いいただくためのものです。本製品を分解や改造して使用すると、電波法違反により罰せられます。
- 免許状に記載されている範囲内で運用してください。
特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることはかたく禁じられています。
- 免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。
再免許の申請手続きは、免許の失効する6カ月前から3カ月前の間に行ってください。

運用上のご注意

- 本製品を使用するには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は海上船舶用無線です。陸上など、海上の船舶以外で使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 運用中は16チャンネルを聴取するようにしてください。
16チャンネルは、遭難・安全／呼出し専用の共通チャンネルです。一般通話には使用しないでください。
また、指定されたチャンネル以外で通信した場合は、電波法違反で罰せられます。
- チャンネルは必ず国際チャンネル「INT」でご使用ください。

■ 使用上のご注意 (つづき)

非常時の運用について

救助が必要な際は、下記の手順に従い 16 チャンネルで DISTRESS コール (遭難信号) を送信します。

- ①「MAYDAY (メーデー)、MAYDAY、MAYDAY」
- ②「THIS IS (こちらは)」
- ③「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」 (3回繰り返す)
- ④ 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類
- ⑤ その他救助に際して有効と思われる情報を伝えます。

お手入れについて

本体に海水や砂、泥などが付着したときは真水でよく洗い流してください。その後乾いた柔らかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてください。

防水性能について

本製品は、JIS 保護等級 7 (防浸形) 相当の防水性能がありますが (バッテリーおよびアンテナ装着時)、完全防水構造ではありません。次のような使いかたをした場合、防水性能を維持できませんのでご注意ください。

- 水深 1.5 m 以上の水中に沈めたとき、または 30 分以上水中に放置したとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口から直接水や湯を当てたとき
- 雨水や水滴が付着したまま、あるいはぬれた手でバッテリーやアンテナを付けたリ、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥などが本体に付着したまま放置したとき
- 落下等の外的衝撃による樹脂部分の変形、ゆがみ、ひび割れなどが発生した場合
- 薬品等の付着により筐体、ゴムパッキン部が変質したり、劣化が生じたとき
- 薬品等の蒸気が発散する場所、または薬品等に触れる場所に放置したとき
- 本体およびバッテリー端子の錆・腐食等による故障、または損傷があるとき
- 使用温度範囲外で使用したとき
- バッテリーおよびアンテナを無線機本体に取り付けずに使用したとき

ご使用前の準備

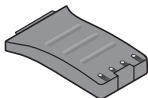
■ 本体と付属品



本 体



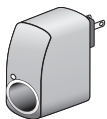
アンテナ



バッテリー



DC 充電器



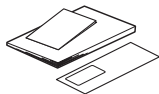
AC/DC
変換アダプター



ベルトクリップ



ストラップ



取扱説明書・
保証書（一式）

※ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。

※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

■ 各部のなまえ

■ 本体（正面）



- ① **アンテナ**
取り付け、取りはずしのしかたは
16 ページをご覧ください。
- ② **液晶ディスプレイ**
表示内容についての詳細は
15 ページをご覧ください。
- ③ **PTT (送信) スイッチ**
押ししている間は送信状態、離すと受
信状態になります。(➡ 22 ページ)
- ④ **[WX ALERT]**
**ウェザーチャンネル/
ウェザーアラートキー**
◎短く押す
押すたびにウェザーチャンネル*、
国際チャンネルグループを切り換
えます。
◎長く押す (約2秒)
押すたびにウェザーアラート* を開
始/終了します。

ご注意!

- ・ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

■ 各部のなまえ (つづき)

⑤ [16/9 TR]

16, 9 チャンネル／トリプルキー

◎短く押す

押すたびに 16 チャンネル、9 チャンネル、受信していたチャンネルに切り換えます。(⇒ 20 ページ)

◎長く押す (約2秒)

押すたびにトリプルウォッチモードを開始／終了します。

(⇒ 26, 29 ページ)

トリプルウォッチモード中に短く押すと、トリプルウォッチを終了して 16 チャンネルを選択します。

⑥ [SCAN DUAL]

スキャン／デュアルキー

◎短く押す

押すたびにスキャンモードを開始／終了します。(⇒ 28 ページ)

◎長く押す (約2秒)

押すたびにデュアルウォッチモードを開始／終了します。

(⇒ 26, 29 ページ)

⑦ [MEM] メモリーキー

表示されているチャンネルをメモリー (スキャン対象) チャンネルに設定 (または解除) します。(⇒ 27 ページ)

⑧ スケルチ調整ダイヤル

ダイヤルを回してスケルチレベルを調整することで、信号のないチャンネルを受信したときの雑音を低減します。(⇒ 21 ページ)

⑨ 電源／音量調節ダイヤル

時計方向に回すと電源オン、さらに回すと音量が大きくなります。反時計方向にいっぱい回すと電源オフになります。(⇒ 21 ページ)

⑩ ストラップ取り付け穴

⑪ [UIC LOCK] キー

◎短く押す

押すたびに、アメリカ／カナダ・国際チャンネルを切り換えます。

(⇒ 20 ページ)

ご注意!

・日本の国内、海域および近海では、必ず国際チャンネル「INT」を使用してください。

◎長く押す (約2秒)

押すたびにキーロック機能を設定／解除します。(⇒ 30 ページ)

⑫ [▲] [▼] アップ／ダウンキー

運用チャンネルを選択します。

(⇒ 22 ページ)

⑬ [1/5W 2.5W] 送信出力キー

◎短く押す

押すたびに送信出力 (1W または 5W) を切り換えます。(⇒ 22 ページ)

◎長く押す (約2秒)

押すたびに送信出力 (2.5W または 1W, 5W) を切り換えます。

⑭ マイク

⑮ スピーカー

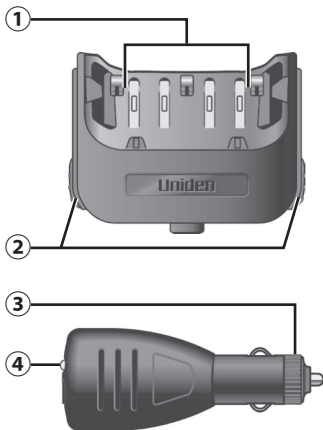
■ 各部のなまえ (つづき)

■ 本体 (背面)



- ① ベルトクリップ
- ② バッテリー
- ③ バッテリー充電端子
- ④ リリースレバー

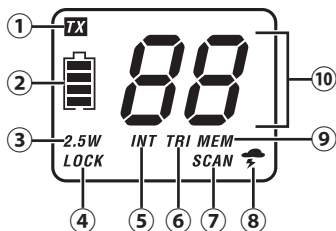
■ DC 充電器



- ① バッテリー充電端子
- ② リリースタブ
- ③ DC プラグ (12V DC)
- ④ 充電ランプ

■ 各部のなまえ (つづき)

■ 液晶ディスプレイ



① 送信表示

送信中に点灯します。

② バッテリー残量

バッテリー残量を5段階でアイコン表示します。



☞ 「空」状態からさらに残量が減ると、「空」アイコンが点滅します。この状態でPTT(送信)スイッチを押してもアラーム音が鳴り、送信はできません。

③ 送信出力

選択している送信出力(1W/2.5W/5W)のいずれかを表示します。

④ ロック

キーロック機能の動作中に点灯します。

⑤ チャンネルグループ

国際チャンネルグループ選択時、「INT」が点灯します。

⑥ デュアルウォッチ/ トリプルウォッチ

デュアルウォッチ中「DUAL」を点灯します。

トリプルウォッチ中「TRI」を点灯します。

⑦ スキャン

スキャン中に点灯します。

⑧ ウェザーチャンネル/ ウェザーアラート

ウェザーチャンネル*グループ選択時、「WX」を点灯します。

ウェザーアラート機能の動作中、「☁」を点灯します。

ご注意!

・ ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

⑨ メモリーチャンネル

メモリー(スキャン対象)チャンネルを選択しているときに点灯します。

⑩ チャンネル番号

現在選択している運用チャンネル番号を表示します。

■ 準備する

アンテナを取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上部のアンテナ取付ねじに穴を合わせ、手で締まる程度まで時計まわりに回して取り付けます。はずすときは、アンテナの根元を持ち、反時計まわりに回してください。

ご注意!

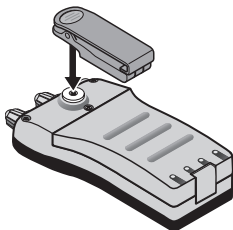
- ・ 運用の際は必ずアンテナを接続してください。接続しないで使用すると、故障の原因となります。



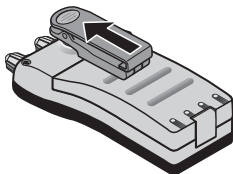
ベルトクリップを取り付ける

■ 取り付け

本体背面のベルトクリップ取付金具に、ベルトクリップ背面のみぞを合わせます。

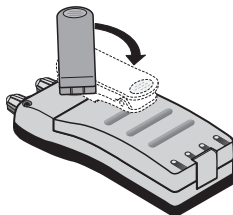


ベルトクリップがカチッと固定されるまで上にスライドさせます。

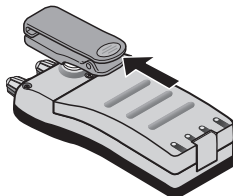


■ 取りはずし

ベルトクリップを 180 度回転させます。



上にスライドさせてはずします。



準備する (つづき)

ストラップを取り付ける

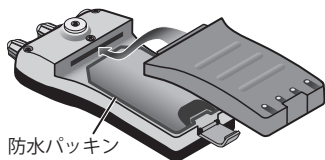
必要に応じて付属品のストラップを取り付けてください。
運用時や持ち運ぶ際、手首にストラップを通しておくと、落としたりせず安心です。

ご注意!

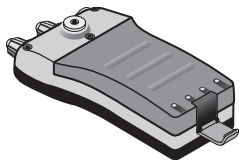
- ・ 持ち運びの際は、アンテナ部分を持って持ち運ばないでください。
- ・ アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。けがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。

バッテリーを取り付ける

- 1 バッテリー上部の凸部を本体背面のみぞに合わせて挿入します。



- 2 リリースレバーをカチッとはめてロックします。



取りはずすときは、リリースレバーをはずしてから、バッテリーを抜いてください。

お知らせ

- ・ バッテリー取付部には、上図のように防水パッキンが付いています。製品本来の防水性能を発揮・維持するため、バッテリーの取り付け、取りはずしの際は、その都度以下の事項を点検するようにしてください。
 - 防水パッキンが所定の位置からずれていないか
 - 破損していないか
 - 砂やゴミなどが付着していないか
 - ぬれていないか

■ 準備する (つづき)

充電する

本製品は、付属品の DC 充電器を使って DC 電源から充電できます。または、DC 充電器に付属品の AC/DC 変換アダプターを接続して、AC 電源から充電することもできます。充電はバッテリーを本体に取り付けた状態でおこないます。

ご注意!

- ・ 充電ランプが点滅している、または充電ランプが点灯しないときは一旦プラグを抜き、充電器と本体、ソケットを再度差し込み直し、接続を確認してください。その後電源プラグに再度差し込んでください。
- ・ バッテリーや充電器、変換アダプターは必ず製品に付属のものをお使いになり、指定以外のものは絶対に使用しないでください。


お知らせ

- ・ バッテリーは継ぎ足し充電ができますので常に満充電の状態でご使用ください。
- ・ 本製品の充電は 0℃～+ 45℃の範囲で行ってください。
- ・ 満充電のめやす時間: 約 3.5 時間 (本体電源オフ時、使用状況により異なります)

● バッテリー残量表示について

バッテリー残量は5段階でアイコン表示されます。



☞ 「空」状態からさらに残量が減ると、「」アイコンが点滅します。この状態では送信をすることはできません。

PTT (送信) スイッチを押すと「**TX**」アイコンおよびチャンネル番号が点滅し、アラーム音が鳴ります。

- ・ バッテリー残量が完全になくなった状態では、充電器に接続した状態でも受信・送信機能はお使いいただけません。この場合は本体の電源をオフにし、バッテリーに蓄電されるまでしばらくお待ちください。

■ 準備する (つづき)

■ DC 充電器を使って充電する

1 バッテリーを本体に取り付けた状態で、本体底部のみぞと充電器のツメを合わせ、カチッと合まるまで差し込みます。

2 シガレットライターソケットに充電器の DC プラグを差し込みます。

☞ 充電中は DC 充電器の充電ランプが“オレンジ色”に点灯します。

☞ 充電が完了すると、充電ランプが“緑色”点灯に変わります。

3 充電が終わったら充電器の DC プラグを抜きます。

4 充電器から本体を取りはずします。
充電器の左右側面にあるリリースタブを押しながら、本体を充電器からスライドさせてはずします。



■ AC/DC 変換アダプターを使って充電する場合

DC 充電器を使う場合と同様にして本体に充電器をセットしてください。

その後、AC/DC 変換アダプターのソケット部に DC 充電器の DC プラグを差し込み、AC/DC 変換アダプターの AC プラグを AC コンセントに差し込んでください。DC 充電器の充電ランプ、および AC/DC 変換アダプターの電源ランプが点灯します。

※ AC/DC 変換アダプターを AC コンセントに差し込むと、AC/DC 変換アダプターの電源ランプが常に点灯します。

ご注意!

- ・ AC/DC 変換アダプターには防水性能はありません。雨や水のかかるところで使用したり、放置したりしないでください。

基本操作のしかた

■ ご使用になる前に

チャンネルについて

16 チャンネル

遭難緊急安全通信チャンネルです。他局との初期通信の確立に使用したり、緊急連絡用として使用します。そのため、待受け中も必ずモニターする必要があります。また、このチャンネルはデュアル・トリプルウォッチの対象チャンネルとなっており、各ウォッチモードの動作時にはこのチャンネルが必ずモニターされます。

コールチャンネル

本製品では 16 チャンネルとは別に、頻繁に使用する運用チャンネルを簡単に呼び出せるコールチャンネルとして、9 チャンネルを設定しています。

- ・ [16/9 TR] キーを短く押すごとに 16 チャンネル、9 チャンネル、受信していた元のチャンネルの順に切り換わります。

国際チャンネル

本機で使用できる国際チャンネル数は 57 チャンネルです。

- ・ [UIC LOCK] キーを短く押すごとに、チャンネルグループが切り換わります。
- ・ 国際チャンネルグループ選択時、「INT」が点灯します。
- ・ [▲] [▼] キーを押してチャンネルを選択します。

ご注意!

- ・ 本製品は [UIC/LOCK] キーを押すごとに米国「US」・カナダ「CAN」および国際チャンネル「INT」に切り換わりますが、日本の国内、海域および近海で米国・カナダの両チャンネルを使用することはできません。必ず「INT」が点灯した状態で使用してください。

■ ご使用になる前に (つづき)

ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて放送・運用されている、NOAA のウェザーチャンネルを受信するために使用するチャンネルです。

ご注意！

- ・ ウェザーチャンネルは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

■ 基本的な使いかた

電源を入れる／切る

電源／音量調節ダイヤルを時計回りに回すと電源がオンになります。

電源オンの状態から反時計回りにいっぱいまで回すと電源がオフとなります。

音量の調節

音量は、電源／音量調節ダイヤルを回して適切な大きさに調整します。

- ・ 時計方向に回すと音量が上がります。
- ・ 反時計方向に回すと音量が下がります。

スケルチレベルの調整

スケルチレベルは、スケルチ調整ダイヤルを回して調整します。

無信号時のノイズを低減したり、スキャンを効率よく行うため、適切なレベルに調整してください。

- ・ 時計方向に回すとスケルチは開きにくくなります。
- ・ 反時計方向に回すとスケルチが開きやすくなり、弱い信号でも受信しやすくなります。

基本的な使いかた (つづき)

受信と送信のしかた

1 電源／音量調節ダイヤルを時計方向に回して、電源を「オン」にする

2 電源／音量調節ダイヤルを回して音量を調節する

3 スケルチ調整ダイヤルを回してノイズが消えるレベルに調整する

4 運用するチャンネルを選ぶ

[▲] [▼] キーを押して、運用するチャンネルを選択します。

 短く押すと1チャンネルごと、押し続けるとチャンネルを早送りできます。

信号を受信すると、スピーカーから音声聞こえます。(必要に応じ、再度音量を調節してください。)


5 [1/5W 2.5W] (送信出力) キーを押して送信出力を選ぶ

通信距離に応じて適切な送信出力を選びます。

1W	近距離通信の場合
2.5W [*]	中距離通信の場合
5W	長距離通信の場合


※ 2.5W を選ぶときは

[1/5W 2.5W] キーを長く押す(約2秒)

 チャンネルによっては1Wしか使えないチャンネルもあります。
チャンネルリスト (➡ 34 ページ) も併せてご参照ください。

6 PTT (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって話す

送信中は、ディスプレイ部に **TX** アイコンが点灯します。

 70 チャンネルは受信専用チャンネルのため、送信はできません。

7 話し終わったら、PTT (送信) スイッチを離す

受信状態に戻ります。

■ 基本的な使いかた（つづき）

● 緊急時など、送信中に 5W（長距離通信）に切り換える場合

1W または 2.5W で送信中に [1/5W 2.5W] キーを短く押すと、5W 送信に切り換えることができます（チャンネル 75、76 使用時は除く）。

● タイムアウトタイマー機能

本製品は 5 分間連続して送信状態が続いた場合、強制的に送信を停止します。

● マイクに向かって話すときは…

マイクと口元は 5cm ほど離し、普通の大きさの声でお話してください。

マイクに近づけすぎたり大きな声で話すと、音が割れるなど、かえって不明瞭となります。

使いこなす

■ 操作モード・ウォッチモードについて

■ 操作モード

本製品には、ノーマル・スキャンの2つの操作モードがあります。

操作モード	機能	モードの切り換え
ノーマル	1つのチャンネルをモニターしながら同一チャンネルで受信・送信を行います	本製品の初期モードです
スキャン	メモリーチャンネル (⇒ 27 ページ) に設定した全てのチャンネルをモニターします	[SCAN DUAL] キーを押す

■ ウォッチモード

上記の操作モードに加え、以下の2つのウォッチモードがあります。

各操作モードとウォッチモードをそれぞれ組み合わせて運用することができます。

ウォッチモードは、選択しているチャンネルを受信しながら、指定した特定のチャンネルを一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合は、そのチャンネルに切り換えます。

ウォッチモード	機能	モードの切り換え
デュアル	16 チャンネルを2秒おきにモニターします	[SCAN DUAL] キーを押し続ける (約2秒)
トリプル	9 チャンネルおよび 16 チャンネルを2秒おきにモニターします	[16/9 TR] キーを押し続ける (約2秒)

■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

スキャンモードについて

スキャンとは、メモリーチャンネルを自動で切り換えながら信号のあるチャンネルをサーチし、検出する機能です。

お知らせ

- ・ スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります（⇒ 27 ページ）。


本製品は、スキャンモード単体で、あるいは各ウォッチモードと組み合わせて運用できます。

- スキャンモード（⇒ 28 ページ）
全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
- スキャンモード + デュアルウォッチ（⇒ 29 ページ）
16 チャンネルを2秒おきにモニターしながら、
全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
- スキャンモード + トリプルウォッチ（⇒ 29 ページ）
9 チャンネルおよび 16 チャンネルを2秒おきにモニターしながら、
全てのメモリーチャンネルをスキャンします。

ウォッチモードについて

ウォッチモードは、特定のチャンネル* を一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合にはそのチャンネルに切り換えます。

- * デュアルウォッチの場合
他のチャンネルを受信しながら 16 チャンネルを 2 秒おきにモニターします。
- * トリプルウォッチの場合
他のチャンネルを受信しながら 9 チャンネルと 16 チャンネルを 2 秒おきにモニターします。

 モニターは 2 秒間隔で行われます。ただし送信している間はモニターを行いません。

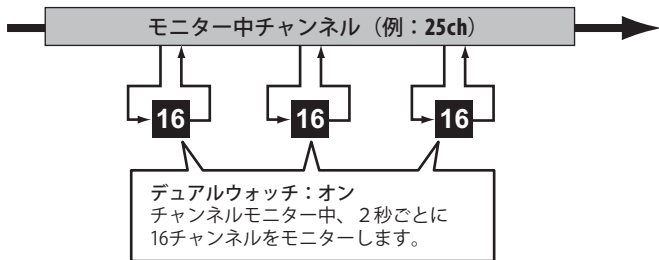
■ ノーマルモードを使う

■ ノーマルモードとデュアルウォッチを組み合わせて運用する

1つのチャンネルをモニターしながら16チャンネルを2秒おきにモニターします。

ノーマルモード中に [SCAN DUAL] キーを長押しする (約2秒)

 解除するときにはもう一度長押しします。

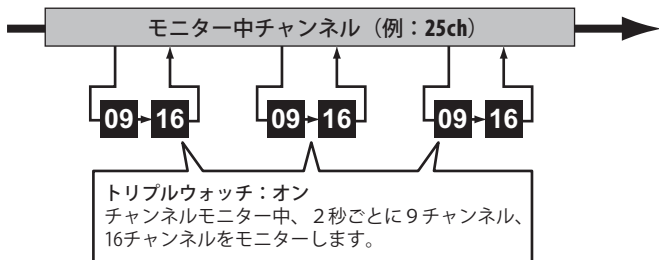


■ ノーマルモードとトリプルウォッチを組み合わせて運用する

1つのチャンネルをモニターしながら9チャンネルおよび16チャンネルを2秒おきにモニターします。

ノーマルモード中に [16/9 TR] キーを長押しする (約2秒)


 解除するときにはもう一度長押しします。



■ スキャンモードを使う

メモリーチャンネルを設定する／解除する

スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります。設定／解除は以下の手順で行います。

 70チャンネルは緊急時デジタル信号専用チャンネルのため、メモリーチャンネルを設定できません。

1 設定（または解除）したいチャンネルを選択する

2 [MEM] メモリーキーを押す

設定されるとディスプレイに「**MEM**」アイコンが点灯します。
設定したチャンネルを選局した際は、常にアイコンが表示されます。
(解除した場合は「**MEM**」アイコンが消えます。)

■ スキャンモードを使う (つづき)

スキャン操作のしかた

ご注意!

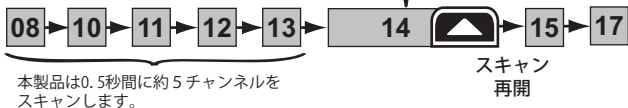
- ・ あらかじめメモリーチャンネルにチャンネルが2つ以上登録されていないと、スキャンモードは動作しません (⇒ 27 ページ)。
- ・ スキャン中は送信できません。

■ スキャンモードにする

[SCAN DUAL] キーを押す

全てのメモリーチャンネルのスキャンを開始します。
ディスプレイには「**SCAN**」アイコンが表示されます。

スキャン中に信号を検出するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを選局します。信号が途絶えるか、または [▲] キーを押すとスキャンを再開します。



スキャン中に信号を受信するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを選局します。スキャンを再開させたいときは [▲] キーを押してください。

👁️ 選局中に受信した信号が途絶えた場合は、自動的に再スキャンを開始します。

■ スキャンモードを終了する

スキャンモード中に [SCAN DUAL] キーを押す

スキャンを終了し、「**SCAN**」アイコンが消えます。

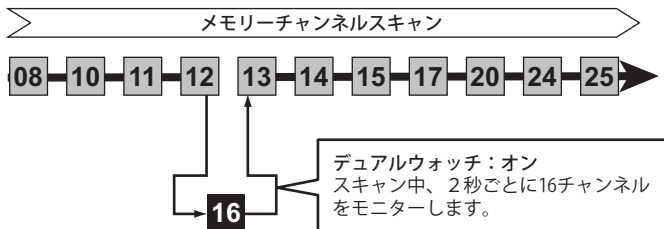
■ スキャンモードを使う (つづき)

■ スキャンモードとデュアルウォッチを組み合わせて運用する

16チャンネルを2秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。

スキャンモード中に **[SCAN DUAL]** キーを長押しする (約2秒)

解除するにはもう一度長押しします。

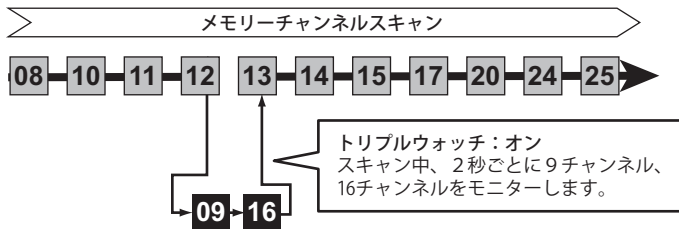


■ スキャンモードとトリプルウォッチを組み合わせて運用する

9チャンネルおよび16チャンネルを2秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。

スキャンモード中に **[16/9 TRI]** キーを長押しする (約2秒)

解除するにはもう一度長押しします。



■ その他の機能

キーロック

キー操作を無効にし、運用中のキーの誤操作を防ぎます。

キーロックを「オン」にすると、PTT（送信）スイッチ以外の全てのキー操作が無効になります。

[**UIC LOCK**] キーを長く押す（約 2 秒）たびに、オン/オフが切り換わります。

キーロックが「オン」のときは、ディスプレイ部に **LOCK** が点灯します。

お知らせ

- ・ 電源を切ると、キーロック機能は解除されます。

キータッチ音

キーを押したときの操作音を鳴る・または鳴らないように設定できます。

【お買上げ時設定：オン（鳴る）】

本体の電源が「オフ」の状態ですべてのキーを押したまま、電源を「オン」にします。設定のたびに「オン」「オフ」が切り換わります。


故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。(☞裏表紙をご覧ください。)

症状	ここをチェック	対処	参照ページ
電源が入らない	十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	18, 19
充電ランプが点灯しない、または点滅する	充電器が本体、ソケットとはずれていませんか？	確実に差し込んでください。	18, 19
スピーカーから音が出ない	スケルチレベルが高すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	21
	音量レベルが小さすぎませんか？	音量を適切なレベルに設定してください。	21
スピーカーから常に雑音がる	スケルチレベルが低すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	21
送信ができない	受信専用チャンネルを選択していませんか？	チャンネルを変更してください。	20, 22, 34
	十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	18, 19
送信が停止する	一度に5分以上連続して送信していませんか？	一旦送信を終了し、再度送信してください。	23

■ 故障かなと思ったら (つづき)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
他の送信出力を選択できない	受信専用チャンネル、または1W出力専用のチャンネルを選択していませんか？	チャンネルを変更してください。	20, 22, 34
送信はできるが応答がない	国際チャンネル以外のチャンネルに設定されていませんか？	[UIC LOCK] キーを押して国際チャンネルを選択してください。 ・国際チャンネルを選択すると、ディスプレイ部に「 INT 」アイコンが表示されます。	20
キーを押しても反応がない	キーロック機能がオンになっていませんか？ ・キーロックがオンになっていると、ディスプレイ部に「 LOCK 」アイコンが表示されます。	[UIC LOCK] キーを長く(約2秒)押し、機能を解除してください。	30
スキャンがスタートしない	メモリー(スキャン対象)チャンネルが2つ以上、設定されていますか？	メモリー(スキャン対象)チャンネルにチャンネルを2つ以上設定してください。	27
キーを押しても音が鳴らない	キータッチ音機能の設定がオフになっていませんか？	キータッチ音機能の設定をオンにしてください。	30
「  」アイコンが点滅する	十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	18, 19
チャンネル番号が点滅する	スキャンモード、ウォッチモードに設定していませんか？	スキャンモード、ウォッチモードを解除してください。	24
	十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	18, 19

■ チャンネルリスト

CH	周波数 (MHz)	
	送 信	受 信
01	156.050	160.650
02	156.100	160.700
03	156.150	160.750
04	156.200	160.800
05	156.250	160.850
06	156.300	156.300
07	156.350	160.950
08	156.400	156.400
09	156.450	156.450
10	156.500	156.500
11	156.550	156.550
12	156.600	156.600
13	156.650	156.650
14	156.700	156.700
15*	156.750	156.750
16	156.800	156.800
17*	156.850	156.850
18	156.900	161.500
19	156.950	161.550
20	157.000	161.600
21	157.050	161.650
22	157.100	161.700
23	157.150	161.750
24	157.200	161.800
25	157.250	161.850
26	157.300	161.900
27	157.350	161.950
28	157.400	162.000
60	156.025	160.625

CH	周波数 (MHz)	
	送 信	受 信
61	156.075	160.675
62	156.125	160.725
63	156.175	160.775
64	156.225	160.825
65	156.275	160.875
66	156.325	160.925
67	156.375	156.375
68	156.425	156.425
69	156.475	156.475
70	受信専用	156.525
71	156.575	156.575
72	156.625	156.625
73	156.675	156.675
74	156.725	156.725
75*	156.775	156.775
76*	156.825	156.825
77	156.875	156.875
78	156.925	161.525
79	156.975	161.575
80	157.025	161.625
81	157.075	161.675
82	157.125	161.725
83	157.175	161.775
84	157.225	161.825
85	157.275	161.875
86	157.325	161.925
87	157.375	157.375
88	157.425	157.425

*1W 出力専用のチャンネルです。

おもな仕様

一般仕様	
国際チャンネル (INT)	送信周波数範囲：156.025 ~ 157.425MHz 受信周波数範囲：156.300 ~ 162.000MHz
ウェザーチャンネル (WX)	受信周波数範囲：161.650 ~ 163.275MHz
※ウェザーチャンネルは米国、およびカナダで放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。	
チャンネル数	57ch (国際チャンネル) 10ch (ウェザーチャンネル)
電波型式	F3E
使用温度範囲	- 20℃ ~ + 50℃
電源電圧	弊社指定のバッテリー / バッテリーケースに限る
消費電流 (7.5V 時)	約 1.4A (送信時：5W) 約 0.9A (送信時：2.5W) 約 0.5A (送信時：1W) 約 55mA (待ち受け時) 約 200mA (受信最大出力時) 約 22mA (パワーセーブ時)
バッテリー持続時間	約 12 時間 (送信 5、受信 5、待ち受け 90 の割合で使用した場合)
接地方式	マイナス接地
アンテナインピーダンス	50 Ω (不平衡)
外形寸法 (突起部を除く)	63.3 (W) × 116.2 (H) × 39 (D) mm
重量	約 315g (アンテナ、ベルトクリップ、バッテリーを含む)

送信部	
送信出力	5W/2.5W/1W
変調方式	リアクタンス変調

受信部	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	- 14dB μ (Typ.) 12dB SINAD 時
オーディオ出力	約 450mW (8 Ω、10%歪時)

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 識別表示は本体背面のバッテリー取付部に記載してあります。

最新の商品情報やサポート情報は、
ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.uniden.jp/>

当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

＜ユニデンダイレクト＞お客様センター

- 商品のご注文 **0120-012-123**
- サポートダイヤル **0120-20-20-70**

MHS75 取扱説明書

発行日：2010年2月 第1版
ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7
<http://www.uniden.co.jp/>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。
あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

©Uniden Corporation
UTZZ01625DZ(0)